



めざせ! One大阪 ISHIN TIMES 維新タイムズ

Vol.3
令和5年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391

大阪維新の会 大阪府議会議員
環境産業労働常任委員長

みよしかおるの府政報告

能登半島地震被災者へ支援しています!



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

1月1日に発生した能登半島地震により犠牲となられた方々に、心より哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様にお見舞いを申し上げます。

大阪府は、大阪市などとともに輪島市をカウンターパート支援しています。緊急消防援助隊やリエゾン(災害対策現地情報連絡員)が同市で活動するほか、医師などの保健師チームや給水車も石川県内において活動しています。全国的なこのような支援活動が実り、一日も早く被災者の皆様に平穏な日々が戻りますことをお祈りする次第です。

大阪府民の皆様の安全安心のためにも、今後の防災と減災について、気を引き締めて取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



「令和6年能登半島地震 大阪府義援金」を募集しています



吉村洋文知事

府政に関する相談やお問合せは
みよしかおる 事務所まで

〒576-0052 交野市私部2-11-30 プライムコートA
TEL (072) 810-7220 FAX (072) 810-7221
ホームページ <https://miyoshi-kaoru.jp>



みよしかおる府政報告会&意見交換会



前半の報告会では大阪府の政策についてお知らせし、後半の意見交換会(15時頃〜)ではご参加いただく皆さんから自由にご意見とご質問をいただいております。中学校区ごとに毎月開催していますので、皆様のご意見をぜひお聞かせください。皆様のお越しをお待ちしております。

- 第30回 1月21日(日) 14時〜 青年の家 私部2-29-1 一中校区
- 第31回 2月17日(土) 14時〜 星田会館 星田3-4-3 三中校区
- 第32回 3月16日(土) 14時〜 交野会館 松塚14-25 二中校区

みよしかおる 今期初の一般質問

令和5年11月定例会(12月5日)

議会中継はこちら▶



ほしだ園地など府民の森の眺望を活用した賑わいづくり

Q ほしだ園地をはじめとする府民の森の眺望を活かした魅力向上に関して、戦略的に進めるべきと考える所見は如何か?

A (環境農林水産部長) 今後指定管理者と連携し、素晴らしい眺望や四季折々の美しい自然景観といった府民の森の強みと魅力を最大限活かしたにぎわい作りに取り組む。

地区計画決定された市街化調整区域への都市計画税の課税の検討について

Q 市街化調整区域を市街化区域へ編入する場合の方針とは。また市街化区域に編入しなくても市街化調整区域の地区計画を持ってなぜ開発が可能となるのか伺う。

A (大阪都市計画局長) 市街化編入の検討対象となる地区を市町村との協議・決定の上で、計画的かつ良好なまちづくりが確実になるなど一定の条件が整えば市街化区域に編入するもの。市街化調整区域の地区計画は、開発者自らがインフラ等の施設整備を行うことを前提に、市町村が地区計画決定するものでこの場合例外的に開発が可能となる。

全国的都市計画税の課税団体は644(R4.10.1時点)。うち市街化調整区域への課税団体は19で、市街化調整区域への課税はレアなケース。住民に税負担を強いることなく、都市計画税課税は原則に基づき市街化区域のみとするべき。国と府からは「市町村が自主的に判断すべきもの」と聞く。市町村の協議によるものだが、問い合わせなどサポートいただきたい。

七夕まつりなど府域の地域イベントとの連携による万博の機運醸成の取り組み

Q 交野市の「七夕まつり」は25,000人の方が訪れる大規模イベント。地域イベントとダッグを組んで万博PRを行うことが府内全域での機運情勢にもつながる。万博推進局に設置の地域連携タスクフォースの実績と今後の取り組みについて伺う。

A (万博推進局長) 博覧会協会や経済界等と連携しながら、官民様々な主体が実施するイベント等にブース出店やステージでの万博PRをプログラムに盛り込んでいただくなど、更なる機運情勢に向け、様々な取り組みを進めてきたところ。府内はもとより全国で万博機運をさらに盛り上げていけるよう取り組んでいく。

都市計画道路天の川磐船線の整備に向けた推進について

Q 都市計画道路「天の川磐船線」の事業着手に向けた取り組みについて伺う。

A (都市整備部長) 府としては、昨年度までに現地測量や道路の予備設計を実施しており、引き続き交野市のまちづくりや市道整備の進捗状況を踏まえ、本路線の着手時期を判断していく。

要望 市道整備の予定と、府の再編・整備計画のある府営交野藤が尾住宅などの事業も考慮し、大阪府も主体的に関わるよう要望する。



府民の移動の自由を守るために

Q ライドシェア(助け合いの乗合)の検討状況と今後のスケジュールについて伺う。

A (都市整備部長) タクシー事業者や経済団体、学識経験者などの意見を伺いながら、様々な観点から検討を進めているところ。今後、万博開催半年前からのライドシェアの導入を見据え、12月末までに制度の骨子案を取りまとめ、国に提案していく。

Q 市町村と地域住民が連携した地域公共交通の取り組みへの支援について伺う。

A (都市整備部長) 府として、府域を4ブロックに分け、地域公共交通の維持に関する意見交換会を実施。地域に望まれる持続可能な交通サービスを市町村が検討できるよう支援していく。



坂上敏也議員

万博会場建設費増額を巡り代表質問！ 万博協会、経済産業省、吉村知事と論戦

議員全員協議会(11月10日) 府議会では25年ぶりに開催



吉村洋文知事

維新府議団代表質問 坂上敏也総務会長

Q 前回増額時、国に対して、1850億円から増額する場合は1/3ルールに拘らず、国の責任において対応すべきと意見書を提出。今回500億円の増額となったが、国は、この府議会の意見書をどう受け止めているのか。また、増額は今回で最後となるのか。

A 国>増額は想定外の物価上昇によるもので、やむを得ないものであった。また、今回、予備費も計上していることから、更なる増額は無い。

Q この間、府議会在、会場建設費の増額について再三、指摘してきた中で、一貫して博覧会協会は「1850億円に収めるよう努める」との答弁であった。それにもかかわらず、なぜこのような500億円の増額が出てきたのか。

A 協会>今まで、様々な節減努力を行ってきた。しかしながら、資材、労務費が高騰し、その影響からの増額である。

Q 会場建設費の増額などで万博開催にネガティブな報道があるが、きちんと万博開催がもたらす効果を国民に発信し、理解を求めていくべきと考える。知事は日頃から「大阪・関西万博を一過性のイベントとするのではなく、その後の経済成長の起爆剤としていく」と言っているが、具体的にどのように取り組んでいるのか。

A 知事>万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。未来への希望を世界に示す万博として是非とも成功させ、その成果を成長につなげることが私の強い思い。万博後は、再生医療の産業化や、空飛ぶクルマの日常的な利用、再生可能エネルギーの実用化によるカーボンニュートラルの先導など、新技術の社会実装を強力に進めることで、新しい産業が創出され、人材や企業がさらに集積する好循環につなげる。こうした取り組みをオール大阪で進め、大阪の成長につなげていく。

要望 万一これ以上の増額があるなら、国の責任において対応を。また、今後の執行状況発信にあたっては、より透明性や客観性を確保し、国民の理解が進むよう分かり易い情報発信をお願いします。

万博推進強化の意見書案を可決 11月20日 国に提出しました!

【意見書の名称】
我が国の発展に資する大阪・関西万博の推進強化を求める意見書

【意見書の概要】
大阪・関西万博を単なるイベントとして成功させるだけでなく、万博をインパクトに大阪・関西、ひいては日本経済の成長・発展に確実に結びつけていくためにも、開催主体である国においては、主導的な役割を果たしつつ、以下について適切に対応されるよう強く要請する。



- 1 万博の会場建設費については、新たに予備費を計上していることにも鑑み、今回の増額を最後とすること。
- 2 徹底したコスト管理とコスト削減を可能な限り追求することに加え、定期的に会場建設費の執行状況を国民に公表することを契機に、万博に関する様々な情報の見える化を更に進めること。
- 3 万博成功の鍵となる「未来社会の実験」の実現に取り組むとともに、万博のメリットを全国で享受するためにも、機運醸成や国内外との交流拡大、子どもの参画促進など、地域の特性に応じた地方の取組みを強力に支援すること。
- 4 万博で実証・実装された最先端技術やサービスなどが、万博のレガシーとして人類共通の課題解決や日本の経済的・技術的発展に資するものとなるよう精力的に取り組むこと。
- 5 来場者の安全・安心の確保は最優先で対応されるべきものであり、必要な警備体制の構築などについては、国において万全の措置を講ずること。
- 6 万博に対する非常に厳しい声があることから、万博開催の意義や会場で体験できるコンテンツ、経済効果などについて、あらゆる機会や広報媒体を活用して発信することで、国民の更なる理解促進につなげること。

物価高騰支援の補正予算案 62億円 を可決! 府議会11月定例会(12月12日)

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた事業者への支援に緊急に必要な経費を追加

福祉施設、医療機関、私立学校等への支援(53億円)

トラック運送事業者への支援(6億1,600万円)

畜産農家への支援(3,500万円)

公共交通事業者への支援(2億円)

“大阪がめざすべきライドシェア”導入へ制度案

2025年大阪・関西万博期間を含み期間限定府内全域

大阪府と大阪市は、全国的なタクシー不足の中、2025年大阪・関西万博を見据え、府民・市民や観光客等の移動手段を確保するため、ライドシェアの導入について、国に提案する制度案をまとめました。

制度案の概要

- 府内の全域を対象に、24時間運行するとしてうえで、実施主体について、タクシー会社だけでなく、同等の運行管理体制を確保できる事業者の新規参入を認める。
- 雇用形態は、業務委託も可能とする一方、安全性を確保するため、事業主体が運送サービス全般に責任を持ってドライバーと契約することで、役割や責任の分担を明確化する。
- 需要と供給に応じて運賃が変動する「ダイナミックプライシング」と呼ばれる仕組みを導入する など

大阪府と大阪市は、国と協議を行い制度案の実現をめざします。

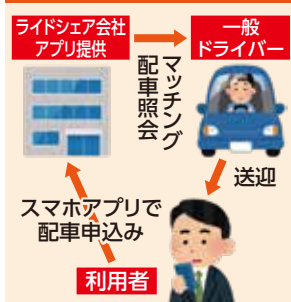


吉村洋文知事：大阪のライドシェアのあるべき姿を国に伝え、しっかりと協議を続けて実現したい。

タクシーとライドシェアの主な特徴

	タクシー	ライドシェア
運転手	プロ(2種免許)	一般人(1種免許)
車両	事業用として登録(緑色ナンバープレート等)	自家用として登録(白色ナンバープレート等)
利用法	空車を見つけて乗車。アプリや電話で呼ぶ。	アプリで予約
運賃	走った距離などに応じて確定。一部は事前確定。	事前確定
運送責任	タクシー会社	実施主体

ライドシェアのイメージ



「空飛ぶクルマ」試験飛行の見学会

12月13日、2025年大阪・関西万博の目玉のひとつ、「空飛ぶクルマ」の試験飛行の見学会が、万博会場近くのヘリポートで行われました。吉村知事や横山大阪市長のほか、招待された地元の小中高校生など約300人が「空飛ぶクルマ」が実際に飛行する様子を見守りました。

実施したのはドイツ企業のポロコプター社で、日本航空と組み万博で運航する事業社に選ばれています。

万博ではほかにも、「丸紅」や「スカイドライブ」「ANAホールディングス」が「空飛ぶクルマ」の運航を予定しています。



試験機は1人乗りの「ポロコプター 2X」(全長10m、高さ2.1m、重量約290kg) 電動モーターで18基のローターを回して飛び垂直離着陸機